

# 印西市横断歩道橋長寿命化修繕計画 (公表資料)



令和 5 年 12 月

印 西 市

## 目 次

1	横断歩道橋長寿命化修繕計画策定の背景・目的 .....	1
2	対象横断歩道橋 .....	1
3	現状 .....	2
4	横断歩道橋長寿命化修繕計画の基本方針 .....	2
5	横断歩道橋長寿命化修繕計画に関する今後の取り組み .....	3

## 1 横断歩道橋長寿命化修繕計画策定の背景・目的

横断歩道橋は、歩行者と車道等を分離するための重要な道路施設であり、緊急措置が必要となった場合は、横断歩道橋が通行止めとなるだけでなく、跨いでいる車道等も部材等の落下により2次災害の危険性が大きくなり、通行止めの措置により社会生活に与える影響が大変大きくなります。

この先、老朽化が進む横断歩道橋を、限られた予算で安全・快適に使えるように修繕・架け替えを行っていくためには、これまで以上に効果的・効率的に維持管理を行う必要があります。

本市では横断歩道橋について、損傷状況を把握するための定期点検を5年に1回の頻度で実施しており、その結果に基づき、「印西市横断歩道橋長寿命化修繕計画」を策定しました。本計画による事業実施により、費用を平準化し長期的なコスト縮減を図ります。

## 2 対象横断歩道橋

印西市が管理する横断歩道橋は表1のとおりです。(令和5年12月現在)

表1 長寿命化修繕計画対象横断歩道橋一覧

番号	横断歩道橋名	所在地	架設年次	橋長(m)
1	中平橋(歩道橋)	平賀干拓584地先	昭和43年	63.000
2	横須賀橋(歩道橋)	小林北五丁目12-2地先	昭和55年	26.570
3	原山歩道橋	原山二丁目1地先	昭和53年	85.700
4	木刈歩道橋	木刈二丁目1地先	昭和53年	24.300
5	高花歩道橋	船尾1441-34地先	平成5年	80.000
6	小林駅自由通路	小林北二丁目6-19地先	平成28年	97.900
7	木下駅自由通路	木下1632-13地先	平成21年	75.800

### 3 現状

橋梁の現状把握は「橋梁定期点検要領（平成26年6月 国土交通省 道路局 国道・防災課）」以下（橋梁定期点検要領）」及び「道路橋定期点検要領（平成26年6月 国土交通省 道路局）」以下（道路橋定期点検要領）」に基づき行いました。

この調査により6橋の横断歩道橋については、表2のとおり健全性ⅠやⅡといった概ね健全な状態であることが確認されましたが、1橋（中平橋）の横断歩道橋で早期に対策が必要な深刻な損傷が確認されました。

表2 健全性判定区分

区分	状態
Ⅰ 健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
Ⅱ 予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
Ⅲ 早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
Ⅳ 緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

状態  
良  
↓  
悪

※橋梁定期点検要領より抜粋

### 4 横断歩道橋長寿命化修繕計画の基本方針

(1) 横断歩道橋を対象とした計画の策定

印西市が管理する全ての横断歩道橋を対象とし、長寿命化修繕計画を策定します。

(2) 道路交通の安全性・信頼性を将来にわたって確保

日常パトロールによる通常点検と、5年に1回を基本とする定期点検を計画的かつ継続的に実施することにより橋梁の状態を早期かつ的確に把握し、早期に維持修繕を実施していくことで、道路交通の安全性・信頼性を将来にわたり確保します。

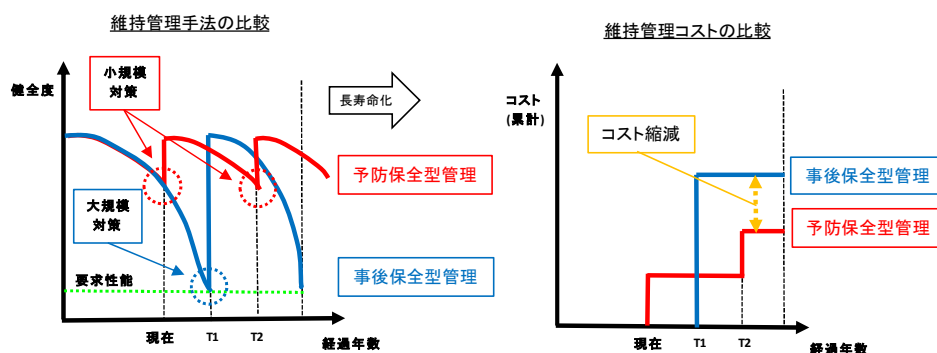
また、今後の定期点検においては、点検及び修繕に関する省力化や費用縮減を図るため、新技術の導入を検討します。



定期点検状況

### (3) 予防保全型の維持管理

損傷が大きくなってから橋梁を補修する**事後保全型**の維持管理から、劣化の進行を予測し、損傷が深刻化する前に修繕を行う**予防保全型**の維持管理を計画的に行うことで橋梁の長寿命化を図っていきます。



予防保全型管理による橋梁長寿命化のイメージ

### (4) 維持管理のコスト縮減と予算の平準化

今後も引き続き、予防保全型の維持管理を計画的に進め、維持管理費のコスト縮減とともに、財政負担が短期間に集中しないよう予算の平準化を図ります。

また、損傷が進行した橋梁については、その橋梁の利用状況や代替路の有無、経済性等を考慮し、地元住民等と調整しながら橋梁の撤去についても検討します。

## 5 横断歩道橋長寿命化修繕計画に関する今後の取り組み

今後の財政状況、点検データの蓄積、補修の実施などにより、適宜修繕計画の見直し等も必要になってきます。

引き続き、5年に1回の頻度で実施する横断歩道橋定期点検により、損傷状況を把握して維持管理を適切に行うとともに、劣化予測手法などの妥当性を検証し、より精度の高い『横断歩道橋長寿命化修繕計画』に基づいた、横断歩道橋の効率的・効果的な管理に努めます。

また、横断歩道橋の維持管理を効率的に進めていくために、人口減少や土地利用の変化や新たなニーズへの対応、財政力の変化などで、インフラに求められる役割や機能も変化していくものと考えられるため、状況に応じて橋梁の集約化や撤去などを進める取組が必要と考えられます。

印西市横断歩道橋寿命化修繕計画 問合わせ先

印西市役所 都市建設部 土木管理課維持係

〒270-1396

千葉県印西市大森2364-2

Tel 0476(33)4670